

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	有限会社劇団銅鑼
公演団体名	有限会社劇団銅鑼

内容
<ul style="list-style-type: none">● 舞台に登場して頂く生徒さんを、グループ分けします。簡単なシアターゲームでウォーミングアップ。● 高校生たちが体験した、動物達との触れ合いや、“動物の骨を砕く“という事がどんなことなのか、どんな気持ちになるのかを舞台で実際に使う小道具などを使って出演俳優たちと一緒に体験します。● 公演当日のリハーサルの際、出演者とバックステージツアーを行います。

タイムスケジュール（標準）
45分授業 2 コマの場合 挨拶 5分 シアターゲームなどのウォーミングアップ 20分 動物・ペットについてのエピソードについて話し合う。35分 休憩 10分 グループに分かれ、動物にまつわるシチュエーションのシーンを作る（静止） 30分 高校生が砕いた本物の骨を見せて説明・出演シーンの説明 10分 振り返り 5分

派遣者数
講師:1名 補助者:5名

学校における事前指導

こちらで作成したリーフレット（A3 両面）を配布してください。

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	有限会社劇団銅鑼
公演団体名	有限会社劇団銅鑼

演目
『いのちの花』 原作: 向井愛実著「いのちの花」(株式会社 WAVE 出版刊) 瀧 晴巳著「世界でいちばんかなしい花 それは青森の女子高生たちがペット 殺処分ゼロを目指して咲かせた花」(ギャンビット刊) 脚本: 畑澤聖悟 演出: 齊藤理恵子 美術: 阿部一郎 照明: 鷺崎純一郎 音楽: 寺田鉄生 音響: 坂口野花 衣裳: 山田靖子 舞台監督: 鈴木正昭 制作: 田辺素子

派遣者数
19名 キャスト 10名 スタッフ 9名

タイムスケジュール (標準)						
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	
時	8時～13時 ※11時過ぎ出演児 童リハーサル(授業 1コマ分)	13時30分 ～15時10分 (1時間40分)	0分	15時30分～ 16時45分	17時	

実施校への協力依頼人員
体育館フロアのシート敷き・椅子を使用する場合は椅子の準備。 舞台袖に置いてある備品・ピアノの移動。暗幕の準備。 可能であれば、搬入・搬出の手伝い。人数は、参加可能範囲で。

演目解説

青森県立三本木農業高校。その敷地面積は、東京ドーム11個分！

その広い広い大地と青空の下、希望に胸を膨らませて動物科学科に入学したマナミたち。糞の匂いにやられながらも家畜たちの世話に励む日々。そして飼育しているニワトリを実習で解体し調理して自分達で食べる。「いただきます」という言葉の意味を考える。そして、東日本大震災—ある日、見学に訪れた動物愛護センターで、殺処分された動物たちの骨が「ゴミ」として捨てられていることを知る——

自分たちにできることはないだろうか？

声を上げることもできずに死んでいった動物たちの「いのち」。

彼女たちは、動物たちの骨を使って花を咲かせ、蘇らせることを思いつく。

名付けて“いのちの花プロジェクト”。

彼女らが咲かせた花を受け取ってくれる人はいるのだろうか？

感動の実話の舞台化。

舞台上に、実際には動物は登場しません。イメージできるように、映像を舞台装置に投影します。

脚本は、高校演劇の第一人者であり、数多くの劇団に話題作を提供し続ける現役高校教師・畑澤聖悟。演出には劇団青年座の新進気鋭の演出家・齊藤理恵子を迎え、疾走する5人の女子高校生の物語をお届けします。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

公演ラストシーン近く、高校生たちが客席に向けて、“いのちの花”を受け取ってくれる人を探します。そのとき客席から**事前ワークショップを経て、自分で考えたセリフ**をひとこと言って、舞台上に上がって花を受け取ってもらい、また客席に戻って頂きます。

また、公演当日のリハーサルの中で、バックステージツアーも行います。

児童生徒とのふれあい

搬入搬出のお手伝いなどを通じて、俳優・スタッフたちとの交流も出来ます。

合評会の実施も可能です。